

「省エネルギー診断」(無料)のお知らせ

(財)省エネルギーセンターでは、事業所(工場、ビル)の省エネや温暖化対策の取り組みを支援するため、経済産業省より補助金の交付を受け、「省エネルギー診断」を無料で実施しています。

「省エネルギー診断」は、所定の申込書により事前調査等を行った上で、省エネの豊富な知識と経験を持つ専門家が、事業所を現地訪問し、概ね1日で診断を行います。なお、原則として、年間のエネルギー使用量(原油換算値)が、100kl以上で1,500kl未満の事業所(工場、ビル)が対象となります。(詳しくは、(財)省エネルギーセンターにご相談ください。)

- 省エネしたいが、方法がわからない
- 技術者がいない。
- これまでも省エネを推進しているが、外部の専門家に診てもらいたい
- 省エネの新技术や機器について知りたい。

こんなときは是非、「省エネルギー診断」(無料)サービスをご利用ください！

【申込方法】

(財)省エネルギーセンターのホームページから「申込書」をダウンロードして、郵送、FAXまたはメールで直接(財)省エネルギーセンターまでお申し込みください。

※ (財)省エネルギーセンター東北支部

- 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町三丁目7番1号(電力ビル本館8F)
- ◇電話 (022)221-1751 ◇FAX (022)221-1752
- ◇URL http://www.eccj.or.jp/audit/buil_serv06/index.html

また、県では(財)省エネルギーセンターと連携して、事業者の「省エネ対策」を支援しています。具体的には、県内の中小企業事業者等を対象として「省エネアドバイザー」を派遣し、上記の「省エネルギー診断」の受診及び受診後の技術的支援を行い、中小企業事業者等の省エネ対策の推進を図ることとしております。

なお、「省エネアドバイザー」の詳細については、県環境政策課低炭素社会推進グループまでお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

- 青森県 環境生活部 環境政策課 低炭素社会推進グループ
- 〒030-8570 青森市長島一丁目1-1
- ◇電話 (017)734-9243 ◇FAX (017)734-8065
- ◇URL <http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/syoueneadviser.html>

各種エネルギーの年間使用量に対する原油換算値は、下記の計算例のように、枠内に該当する数字を当てはめて小数点以下を四捨五入して求めてください。

【電力】

例1 昼間・夜間の使用量が区別できない場合

電力量	1,400,000	$\text{kWh/年} \times 0.00997\text{GJ/kWh} \times 0.0258\text{kL/GJ} = 360\text{kL/年}$
-----	-----------	---

例2 昼間・夜間の使用量が解かる場合

昼間電力量	1,000,000	$\text{kWh/年} \times 0.00997\text{GJ/kWh} \times 0.0258\text{kL/GJ} = 257\text{kL/年}$
夜間電力量	400,000	$\text{kWh/年} \times 0.00928\text{GJ/kWh} \times 0.0258\text{kL/GJ} = 96\text{kL/年}$

合計 353kL/年

*昼間電力：昼間電力量は電力量請求書の有効電力量

夜間電力：夜間電力量は全電力量-昼間電力量

【ガス】

例1 都市ガス（東京ガス13Aのケース）

ガス使用量	50,000	$\text{m}^3/\text{年} \times 0.045\text{GJ/m}^3 \times 0.0258\text{kL/GJ} = 58\text{kL/年}$
-------	--------	---

注) 都市ガスの発熱量はガス供給会社により異なるので確認してください。

例2 LPG

kg計量の場合	50,000	$\text{kg/年} \times 0.0508\text{GJ/kg} \times 0.0258\text{kL/GJ} = 66\text{kL/年}$
m ³ 計量の場合	20,000	$\text{m}^3/\text{年} \times 2.07\text{kg/m}^3 \times 0.0508\text{GJ/kg} \times 0.0258\text{kL/GJ} = 54\text{kL/年}$

【油】

例1 灯油	50,000	$\text{L/年} \times 0.0367\text{GJ/L} \times 0.0258\text{kL/GJ} = 47\text{kL/年}$
-------	--------	---

例2 軽油	50,000	$\text{L/年} \times 0.0377\text{GJ/L} \times 0.0258\text{kL/GJ} = 49\text{kL/年}$
-------	--------	---

例3 A重油	50,000	$\text{L/年} \times 0.0391\text{GJ/L} \times 0.0258\text{kL/GJ} = 50\text{kL/年}$
--------	--------	---

例4 B, C重油	50,000	$\text{L/年} \times 0.0419\text{GJ/L} \times 0.0258\text{kL/GJ} = 54\text{kL/年}$
-----------	--------	---

【地域熱供給】

例1 冷水	5,000	$\text{GJ/年} \times 1.36 \times 0.0258\text{kL/GJ} = 175\text{kL/年}$
-------	-------	--

例2 温水	5,000	$\text{GJ/年} \times 1.36 \times 0.0258\text{kL/GJ} = 175\text{kL/年}$
-------	-------	--

例3 蒸気（産業用以外）	5,000	$\text{GJ/年} \times 1.36 \times 0.0258\text{kL/GJ} = 175\text{kL/年}$
--------------	-------	--

例4 蒸気（産業用）	5,000	$\text{GJ/年} \times 1.02 \times 0.0258\text{kL/GJ} = 132\text{kL/年}$
------------	-------	--

注1) 上記に無いものなど、ご不明な点があれば省エネセンターにお問い合わせください。

注2) 使用した電気、燃料、熱の発熱量および発熱量の原油への換算係数は「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」の第4条によります。

省エネルギー診断の基本構成

- ・省エネの専門家があなたのビルを診断し、改善対策を提言します。
- ・気付かなかった無駄の改善や新しい技術導入の可能性を示します。
- ・技術的、経済的な視点を織り込んだ診断報告書を提出します。
- ・診断をご希望の方は、添付の申込書にて、FAX、郵送またはEメールでお申込み下さい。
また、申込書はホームページからダウンロードしても利用できます。

※ 年間のエネルギー消費量など、受診条件があります。申込書をご覧ください。

基本データ調査

エネルギー管理状況

エネルギー使用量（既存データ）

設備の現状調査・解析

熱源・熱機送設備

ボイラ

冷凍機

補機

ポンプ・ファン

蒸気系統

空調・給湯設備

空調設備

空調効率

換気設備

制御システム

給湯設備

電気・照明設備

受変電設備

負荷平準化

コージェネレーション

照明設備

O A 機器

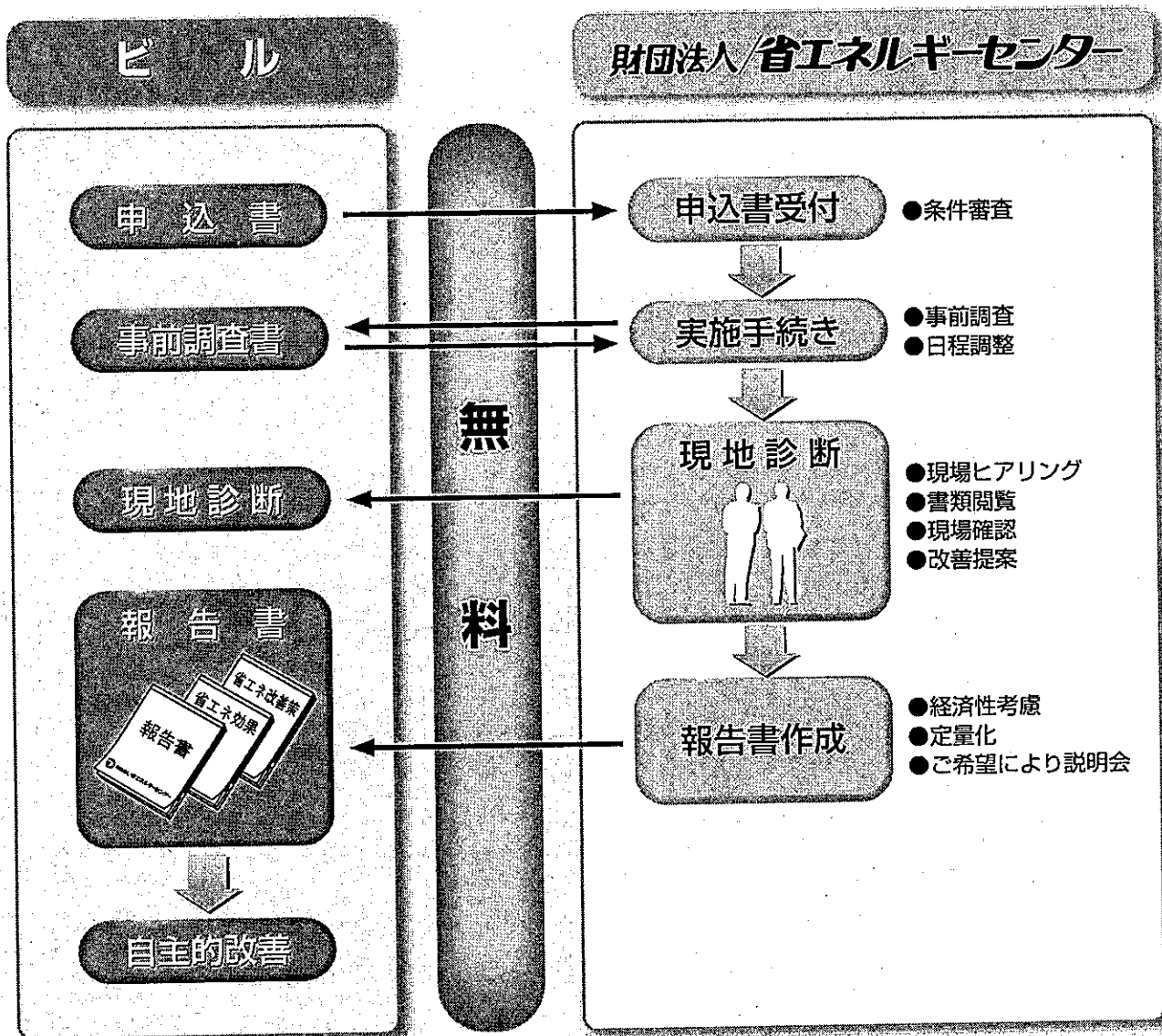
改善提案

分類Ⅰ 運用にて実施可能な提案

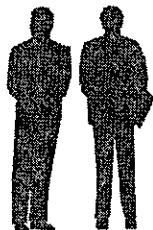
分類Ⅱ 投資にて実施可能な提案

分類Ⅲ リニューアル時に実施可能な提案

省エネルギー診断の仕組み



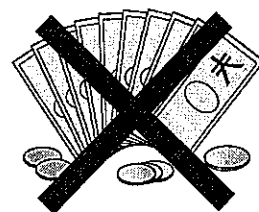
省エネの豊富な知識と経験を持つ専門家が伺い、1日診断を行います。



診断報告書を提出し、具体的な改善提案、期待効果、経済性を提示します。



費用は一切いただきません。また、中立機関として、公正かつ秘密を厳守します。



ビルの省エネルギー診断申込書

注) 原則として、年間エネルギー使用量の原油換算値が 100kL 以上、1,500kL 未満のビルが診断対象となります。
100kL 未満または 1,500kL 以上の場合は、ご相談ください。

申 込 者	該当部に○印	オーナー	テナント	委託管理会社	
	会社・事業所名				
	所在地 〒				
	申込責任者(※1)		所属:	役職:	氏名:
	申込担当者 (連絡窓口)		所属:	役職:	氏名:
Tel:			Fax:		
		E-mail:			
		ホームページ:			
		連絡先が上記所在地と違う時の所在地: 〒			
ビルオーナー (申込者がオーナーと異なる場合)		会社名:			
		所在地: 〒			
診断対象ビル名 (又は店名)		ビル名:			
		所在地: 同上または (〒)			
ビルの用途(※2) 複数可		庁舎・事務所・商業ビル・ホテル・病院・集会所・学校・研究所・他 ()			
ビルの概要(※2)		●構造: SRC ・ RC ・ S ・ その他 ()			
		●延床面積: m ² ●階数: 地上 階、地下 階			
診断対象範囲(※2)		ビル全体・ビルの一部 (階～ 階)	設備管理者(※2)	自社・委託管理会社	

エネルギー使用状況

エネルギー等の種類	年間使用量(前年4月～3月又は直近12ヶ月)	原油換算量 (kL) (※3)
契約電力	kW	kL
電力量 (自家発電を除く)	kWh	kL
ガス使用量 (種類)	m ³ , kg (※2)	kL
油使用量 (種類)	L	kL
地域熱供給 (冷水、温水、蒸気)	GJ	kL
その他 (種類)		kL
水使用量	m ³	kL
原油換算量合計		kL

この省エネ診断を、 何で知りましたか (※2) (複数可)	当センターホームページ・ダイレクトメール・セミナー等 () 自治体 () の紹介・団体/組織 () の紹介 当センター専門員 () の紹介・会社/グループ内 () の紹介 その他 ()
省エネ診断受診履歴(※2)	無・有 (実施機関:) (平成 年 月頃)

最寄駅 (鉄道名..... 線名..... 駅名.....)

最寄駅からの交通手段 (下記のどれか一つに記入してください) (最寄駅からの案内図があれば添付してください)

- ・バスの場合 (会社名..... 行先..... 停留所名..... 所要時間.....分 停留所から施設まで徒歩.....分)
- ・徒歩の場合 (.....分) ・その他 ()

※1: 経営者、省エネ担当部門長等をお書き下さい

※2: 該当するものを○印で囲んでください。または数値などを記入してください。

※3: 資料-1の原油換算方法により算出してください。自家発電は使用する燃料で計上し、発電量は電力量に入れしないでください。

【備考】

1. 事業所側と事前に派遣予定の外部専門家の照会を行ったうえで省エネ診断を行います。
2. 受診条件などは、変更することがあります。
3. 申込書をいただいても、受診できないこともありますのでご了承ください。

